

受付は5月17日からです。

令和3年3月31日

## 2021年度（令和3年）日本工業大学教員免許状更新講習 募集要項

日本工業大学教職教育センター

日本工業大学では、2021年8月2日（月）～8月6日（金）の日程で教員免許状更新講習を実施いたします。講習は「必修」（6時間）、「選択必修」（6時間）、「選択」（18時間）の3領域からなります。本学では、主に高等学校「工業科」及び中学校「技術科」の教員を対象として、これら3領域の各講習を開設いたします。

受講を希望される方は以下の要項をよく読んで「講習申込フォーム」からお申し込みください。なお、教員免許更新制の詳細については文部科学省のホームページをご覧ください。

### 開設する講習

- 8月2日（月） 必修講習 「子どもの発達に関する脳科学、心理学等の最新の知見」  
「国の教育政策や世界の教育の動向と教員としての子ども観、教育観等についての省察」  
「子どもの生活の変化を踏まえた課題」
- 8月3日（火） 選択必修講習①コース「学校の授業と家庭学習との連携」  
選択必修講習②コース「外国につながる児童生徒のための日本語支援」  
選択必修講習③コース「教育の情報化を踏まえた今後の学校教育」
- 8月4日（水） 選択講習 A「ユニバーサルデザインとユニバーサルスペース」  
選択講習 B「熱・流体とエネルギー変換技術」
- 8月5日（木） 選択講習 C「電気電子通信技術の現状と将来」  
選択講習 D「バイオテクノロジーを実体験する」
- 8月6日（金） 選択講習 E「知能機械技術の現状と将来」  
選択講習 F「プログラミング技術」

\*1日単位の講習だけでも受講できます。

\*選択必修講習は1日に3コース開設されますが、その内1コースのみ選んで受講ください。途中からの変更はできません。

\*選択講習は1日に2講習開設されますが、その内1講習を選んで受講ください。途中からの変更はできません。

### 募集定員

必修講習 60人

選択必修講習（講習①コース、講習②コース、講習③コース） 各コース20人

選択講習（講習Aから講習Fまで） 各20人

\*各講習とも、受講希望者が5人未満の場合には開講しないことがあります。

## 会場

日本工業大学（宮代キャンパス） \*アクセスは本学ホームページをご覧ください。

## 受講資格

受講資格につきましては、個別に各教育委員会等にお問い合わせください。また、あわせて文部科学省のホームページでもご確認の上お申し込み下さい。

(文科省 HP [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm))

## 受講料

必修講習：6,000 円

選択必修講習：6,000 円

選択講習：1 講習につき 6,000 円

\*全日程（5 日間）を受講する方は 30,000 円となります。

\*受講料の振り込み期限は **6 月 10 日（木）** です。振り込み先は大学からの「申込み完了メール」にてお知らせします。期限までに振り込みがなされない場合はキャンセルと見なします。

\*受講料の振り込み手数料、受講申請書等の郵送料は受講生がお支払いください。

\***7 月 16 日（金）** までのキャンセルについては受講料の一部（1 講習につき 5,000 円）を返還します。**7 月 17 日（土）** 以降のキャンセルについては受講料の返還はできません。

## お申し込み方法

**募集期間は文科省の定めにより、本学の場合、5 月 17 日（月）からとなります。それ以前には受付できませんので、ご了承下さい。**

①**受講希望者から大学へ**：日本工業大学ホームページにある「教員免許状更新講習申込フォーム」から必要事項を入力の上申し込んでください。先着順となります。定員にありましたら、受付できませんのでご注意ください。

②**大学から受講希望者へ**：「申込完了メール」でお知らせします。その際、受講可とされた方には、受講料の振り込み先をお知らせするとともに、添付ファイルにて「受講申請書」と「事前アンケート」を送ります。

\*添付ファイルを送りますので、携帯電話のメールによるお申し込みはできません。

③**受講希望者から大学へ**：受講可とされた方は、「受講申請書」に必要事項を記入、写真を貼付し、勤務する学校の校長から証明を受けたうえで、「事前アンケート」とともに **6 月 10 日（木）**<消印有効>までに大学に郵送してください。そして、同日までに受講料を振り込んでください。

④**大学から受講希望者へ**：書類と受講料の納入を確認した後、「受講票」と「受講案内」を送ります。「受講票」は講習当日に必ず持参してください。

## 受講募集期間

① 優先募集（本学卒業生のみ）

2021年5月17日（月）（0:00 開始）～ 2021年5月18日（火）（23:59 締切）

② 一般募集（一般受講生および本学卒業生の方）

2021年5月19日（水）（0:00 開始）～ 2021年5月21日（金）（23:59 締切）

\*本学卒業生は、申込フォームの基本情報欄で「本学卒業生は入力ください」箇所を必ず入力してください。記入がない場合は優先受付ができません。

\*一般受付は、定員に達していない講習に限り先着順で受け付けます。

\*受付期間内であっても定員に達した講座は受付できませんので、あらかじめご了承ください。

## 講習の日程と内容

1日目 8月2日（月）	2日目 8月3日（火）	3日目 8月4日（水）	4日目 8月5日（木）	5日目 8月6日（金）
1講習	3講習から選択	2講習から選択	2講習から選択	2講習から選択
<b>必修講習</b> 教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項 （6時間）	<b>選択必修講習①</b> 学校の授業と家庭学習との連携 （6時間）	<b>選択講習A</b> ユニバーサルデザインとユニバーサルスペース （6時間）	<b>選択講習C</b> 電気電子通信技術の現状と将来 （6時間）	<b>選択講習E</b> 知能機械技術の現状と将来 （6時間）
	<b>選択必修講習②</b> 外国につながる児童生徒のための日本語支援 （6時間）	<b>選択講習B</b> 熱・流体とエネルギー変換技術 （6時間）	<b>選択講習D</b> バイオテクノロジーを実体験する （6時間）	<b>選択講習F</b> プログラミング技術 （6時間）
	<b>選択必修講習③</b> 教育の情報化を踏まえた今後の学校教育 （6時間）			

各講習とも9:30開始、17:00終了予定です。

### 8月2日（月）

#### 必修講習

「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」

担当講師：瀧ヶ崎隆司

「国の教育政策や世界の教育の動向と教員としての子ども観、教育観等についての省察」

担当講師：末吉雄二

「子どもの生活の変化を踏まえた課題」

担当講師：山口 剛

「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の4事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得を図り、また、今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。

8月3日(火)

### 選択必修講習

#### ①コース

##### 「学校の授業と家庭学習との連携」

担当講師：小山将史

アクティブラーニングは、児童や生徒が自主的・主体的に学ぶことにある。「家庭学習(ここでは広く捉え、教室外の場所での学習とする)」を新たな形で実践することで、学習への取り組みを向上させる好機となる。家庭や地域と連携した「学習環境」をキーワードに、工夫された授業と繋がる家庭学習を行うことで、教室での授業は進展することが期待できる。グループワークなどを交えて、新たな学びをともに考えていきたい。

#### ②コース

##### 「外国につながる児童生徒のための日本語支援」

担当講師：河住有希子

「日本語の指導が必要な子供」を取り巻く現状を説明するとともに、日本語支援の役割と方法について講義する。子供にとって言葉を学ぶことは、学校や社会生活への適応、認知面での発達、アイデンティティ形成等の基盤をつくることでもある。本講義では、日本語支援がこのような全人的な支援であることを踏まえ、日常生活場面での日本語だけでなく、思考や学びを支える言葉の力の育成を目指した日本語支援の事例を解説する。

#### ③コース

##### 「教育の情報化を踏まえた今後の学校教育」

担当講師：宮原浩・本村猛能

高等学校(工業)における情報技術教育に関する最新の動向や課題等に関して取組等を中心に紹介する。また、令和4年度より導入される「工業情報数理」の学習指導方法に関し、教材や展開に関する協議を行う。後半は、中・高プログラミング教育が目目されている。そこで、情報教育の基底、メディアリテラシー教育、プログラミング教育、情報モラル教育を、世界の動向を交えて検討する。

8月4日(水)

### 選択講習 A「ユニバーサルデザインとユニバーサルスペース」

担当講師：西本真一・野口祐子

ユニバーサルデザインとバリアフリー、あるいはユニバーサルスペースなど、表向きは似ていて意味が交錯している専門用語が近代建築の分野では見受けられます。これらにおいては人々に利益をもたらす「普遍」の概念がいずれの場合もめざされている一方、しかし目的が微妙に異なっていて不思議な世界が展開していると言わざるを得ません。今という時代を客観的に眺める試みをおこない、その様相を改めて考えてみたいと思います。

## 選択講習B「熱・流体とエネルギー変換技術」

担当講師：丹澤祥晃・中野道王・桑原拓也

エネルギー変換技術は、化石燃料や自然エネルギーを人々の生活に有効に利用するために無くてはならない技術である。そして、その根幹にある学術的分野は、熱力学と流体力学である。この講習では、熱力学および流体力学の基礎を再確認しながら、様々なエネルギー変換技術について、事例を基に説明する。

8月5日(木)

## 選択講習C「電気電子通信技術の現状と将来」

担当講師：吉野秀明・竹村暢康・木村貴幸

電気電子通信工学の最新技術について講述する。①情報通信技術（ICT）の中核をなす情報ネットワークを支える基盤技術について講義する。②無線通信に関する内容として、移動体通信技術の変遷及び動向やマイクロ波を用いた電波応用技術について講義する。③スマートグリッドや再生可能エネルギーに関する内容とまたそれらを含む最適化技術の最近の動向について説明する。

## 選択講習D「バイオテクノロジーを実体験する」

担当講師：芳賀健・佐野健一

遺伝子編集技術やiPS細胞を使った再生医療など、バイオテクノロジーの進展は近年めまぐるしいものがある。これらバイオテクノロジー技術は、とても難しいと思われがちだが、実際には意外と簡単におこなうことができる。この講習では、PCR法を用いた『植物の品種の同定』、細胞膜透過活性を持つタンパク質を使った『細胞内ドラッグデリバリー技術』について、実際に実験を交えながら学ぶ。

8月6日(金)

## 選択講習E「知能機械技術の現状と将来」

担当講師：鈴木宏典・浦川禎之

知能機械技術について、発展経緯と現状、将来展望を講義する。知能機械の代表例は自動車やロボット、産業機械である。ここでは、知能機械制御の基盤である古典・現代制御技術、コンピュータとともに発展著しい様々な知的制御技術、近年急速な開発が進む自動車の自動運転について講義を行う。

## 選択講習F「プログラミング技術」

担当講師：桑野文洋

初等中等教育において必修化されるプログラミング技術について講述する。社会におけるITの役割を概観したのち、コンピュータの仕組みの基礎を説明し、プログラミング技術とはどのようなものかを解説する。プログラミングとはどのような作業であるのか、また、どのような思考が必要となるのか、それらを体験させ理解を深めるために、学習用のプログラミング言語を用いた演習を行う。

## 申込準備から受講修了までの手続き

<準備> 受講資格を確認して下さい。不明な場合は各教育委員会へお問い合わせ下さい。

<申込> 大学ホームページの申込フォームから受講を希望する講習を入力して下さい。  
5/17 (月) ~ 5/18 (火) ① 本学卒業生優先募集  
5/19 (水) ~ 5/21 (金) ② 一般募集 (定員に達していない講習のみ募集)

<確認メールおよび完了メール> 大学側から送られてくるメールの添付ファイルを印刷し、「受講申請書」「事前アンケート」を **6/10 (木) <消印有効>** までに教職教育センターへ送付ください。また、同日 (**6/10 (木)**) までに受講料を指定口座へ振り込んでください。

<受講票等送付> **7月上旬**  
書類手続きと入金手続きが確認できた方へ書類等をお送りします。

<受講> **8/2 (月) ~ 8/6 (金)** 講習受講・修了試験 (全日程とも 9:30~17:00)

<証明書> **8月下旬頃** 修了証明書・履修証明書の送付予定

<更新手続き> 30 時間以上の修了証明書もしくは履修証明書を添えて各自で教育委員会等に「更新講習修了確認」の申請をします。各免許管理者が定める申請方法等を確認の上、必ず期限まで申請して下さい。

### お問い合わせ

日本工業大学 教職教育センター

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1

Tel: 0480-33-7737 (直) FAX: 0480-33-7744

mail: menkyo@nit.ac.jp